

《成果①》
新規性・新たな知見

日本国際問題研究所

2025年度総合事業：経済安全保障の観点から我が国の強みや脆弱性を踏まえた、望ましい国際経済環境のあり方

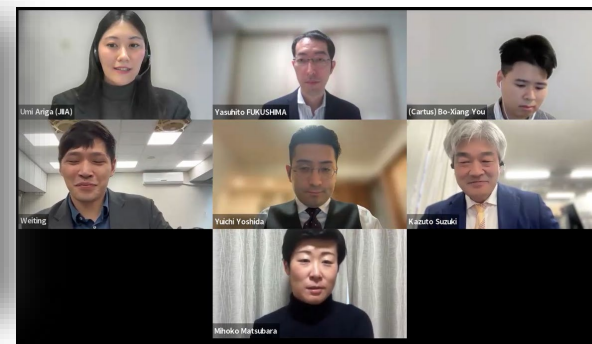


「経済安全保障」研究会

「相互依存の武器化」の進展に伴い、経済ネットワークと地政学リスクの評価方法の必要性を指摘。米中間の関税措置やレアアース輸出規制などを踏まえ、日本の重要物資サプライチェーン政策、経済的威圧への対応、有志国間の連携の重要性などについて知見を得た。

「先端技術と安全保障」研究会

インド太平洋地域における重要・新興技術の戦略的含意につき、具体的かつ実務的な調査研究を実施。台湾DSETとのウェビナーや企業有識者との議論を通じ、海底ケーブル、ドローン、AI、次世代通信（IOWN・6G）を巡る安全保障・経済安全保障上の課題や官民連携の在り方について知見を深めた。



経済安全保障分野を代表する有識者との連携

- ・ H.K シン・デリー・ポリシー・グループ (DPG) 所長
- ・ ソック・シパナ・カンボジア王国上級大臣
- ・ アブラハム・ニューマンBMWドイツ・ヨーロッパ研究センター所長、ジョージタウン大学教授

企業との連携

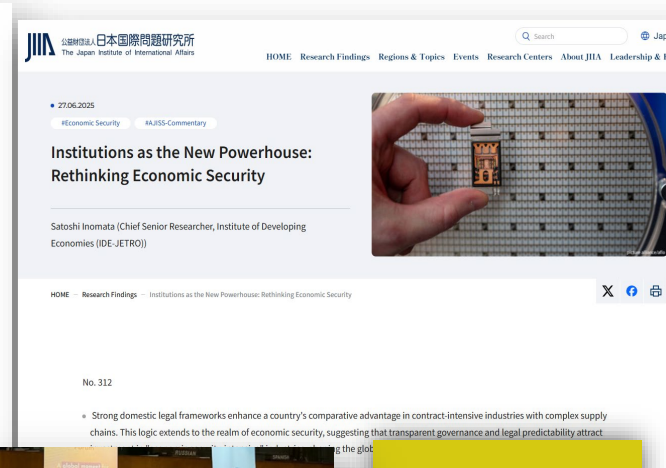
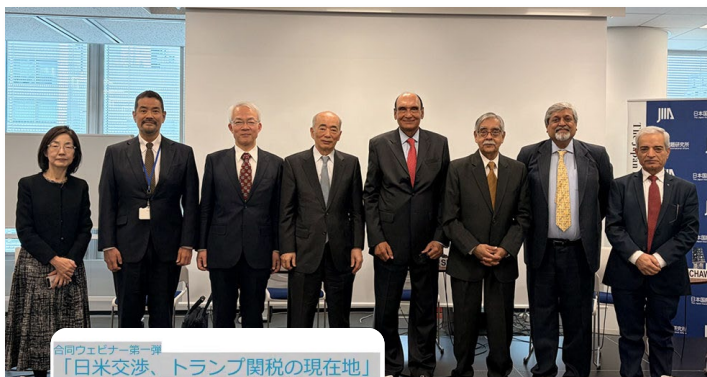
IBM、NTTの実務者を登壇者に迎えた研究会

成果を集約し、展望と日本外交への提言を含む『戦略アウトルック』を発表

《成果②》 機動的な内外への発信

日本国際問題研究所 2025年度総合事業：経済安全保障の観点から我が国の強みや脆弱性を踏まえた、望ましい国際経済環境のあり方

JIIA



「国問研戦略コメント」・「国際問題」・「メディア出演」

- ・ 「トランプ関税：日米貿易交渉の行方」の分析をタイムリーに発信。
- ・ 「経済安全保障」に対するGATT/WTOの法的位置付け等の質の高い分析。
- ・ 読売新聞、日本ファクトチェックセンター等のメディア出演。

「英語による発信」

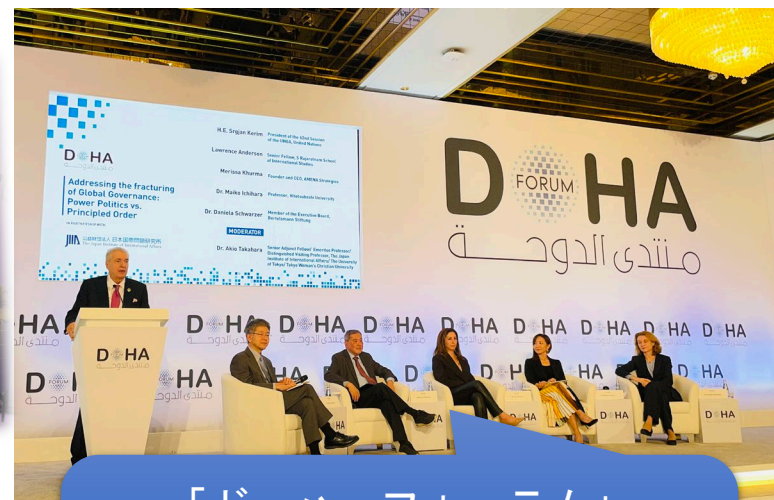
- ・ AJISS-Commentary、戦略アウトルック等を英語で発信。
- ・ PECCシンガポール委員会、国連総会第一委員会におけるサイドイベント、ドーハ・フォーラム等への登壇。

専門性の高い最新情勢の分析・政策提言を日英両言語で分かりやすく発信

《成果③》
シンクタンク・有識者
との連携（発信を含む）

日本国際問題研究所

2025年度総合事業：経済安全保障の観点から我が国の強みや脆弱性を踏まえた、望ましい国際経済環境のあり方



「海外シンクタンクとの連携」

- EU・欧州シンクタンク（ECIPE, RUSI Europe, EPC, HCSS 等）とのパートナーシップ強化。
経済安全保障、サプライチェーン強靱化、貿易政策、フィンテック規制などの論点について意見交換。
- インド Delhi Policy Group (DPG) と「第8回 日印インド太平洋フォーラム」を共催。

「ドーハ・フォーラム」

日本、米国、欧州、中東地域の有識者とともに経済安全保障のパネルセッションを共催。



「ワークショップ開催」
「Global Governance in a Geopolitical World」

講師

Hylke Dijkstra・オランダ・マートリヒト大学教授
Michal Parizek・チェコ共和国・カレル大学 准教授



台湾初代デジタル大臣のオードリー・タン氏の書籍
『Plurality』出版記念イベントの偽情報セッションへの貢献。

駐日大使館等からの各種照会・情報提供依頼への対応を通じた貢献等。



海外主要シンクタンク・有識者との活発な意見交換・ウェビナー開催により
グローバルな知的ネットワークの構築と対外発信